

研修
テーマ

市町村アカデミー開設30周年記念 特別講演会～人口減少時代の政策課題～

- 研修日程：平成29年10月31日～11月1日
- 研修会場：市町村職員中央研修所（千葉県千葉市）
- 参加議員：長谷川秀樹 ●研修経費：74,000円

まちづくりに活かす 研修レポート

このコーナーは、議員がレベルアップをはかるべく受講した研修の内容をお知らせします。

オンリーワンから
ナンバーワンを
目指す！



研修報告

研修の内容は講演会、情報交換会、意見交換会、パネルディスカッションという構成で生まれ、講演は日本社会事業大学学長神野直彦氏が「新しい時代における地方行政への期待」京都大学名誉教授佐伯啓思氏が「現代社会の行方と日本」というテーマの内容でした。

研修から学んだこと

将来の町の発展は、議員個々がしっかりとしたポリシーを持ち、高みを目指し。議会として団結して、より大きな力を発揮してこそ、町の発展が可能になります。短所を克服しても高々人並みにしかたれない、長所を発展させてこそ、歴史に貢献できるという話を聞き、私たちの町は、オンリーワンを目指すというところで進んできています。オンリーワンからナンバーワンを目指すことも大切であることを学びました。

研修
テーマ

議会の政策立案機能・監視機能を活かし、 議会力、議員力を高める

- 研修日程：平成29年10月23日～10月25日
- 研修会場：京都府京都市
- 参加議員：鈴木康裕 ●研修経費：96,000円

政策の効果を科学的根拠や
データから
見る



研修報告

講演は、北海道出身で龍谷大学教授土山希美枝氏から「議会による政策の制御システム」、同志社大学准教授飯田健氏から「エビデンスと政策立案」、同志社大学教授新川達郎氏から「監視機能から議員力、議会力を高める」というテーマの内容でした。

研修から学んだこと

地域の課題は無限であるけれど、資源は有限であるので、様々な観点から議論をし、正解がない中でも決断をする権限は最終的には議会にあること。また、一般質問では、複数の議員が同じテーマを異なる視点で質問を行う議員間連携や関連質問が有効であり、そのためには議員間討議が重要であること。また、条例の制定については、政策の効果を厳密に検証し、費用対効果を考え立案することの重要性と共に、科学的根拠を実験や調査観察データに基づくことも重要であることを学びました。最後の講演では、監視権限の基本的な項目を改めて認識することができ、そのためには、問題発見、情報収集、情報評価につとめ、市民団体、評価NPO、大学研究機関との連携も必要であることを学びました。